

● 学校法人α Version 6.301

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 登録・入力

➤ 新規会社登録・修正・削除

・過年度マスターが存在する場合でも、当年度マスターのみを削除できるように改良しました。

◆ バックアップ・リストア業務で保存先として外付け HDD に対応いたしました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人db (VERSION:6.301) の変更点**”を参照してください。

ⓘ 注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

学校法人 d b (VERSION:6.301) の変更点

改 良

I. 登録・入力

1) 仕訳入力

①通常入力

- ・「F4 入力設定」の「資金繰諸口枝番名称を表示」を「資金収支諸口枝番名称を表示」に文言を変更し、諸口入力時に資金収支枝番 [.0001 現預金対象仕訳] [.0004 相殺仕訳 (振替仕訳)] を入力できるように改良しました。

枝番

- 枝番未入力チェック
- 枝番名称を表示
- 枝番のコピー
- 枝番摘要を仕訳摘要にセット
- 資金収支諸口枝番名称を表示
- 枝番選択を50音順で表示

1	現 金	9 .0001	現預金対象仕訳	17
2	当座 預金 1	10 .0004	相殺仕訳(振替仕訳)	18
3	*授 業 料/非課	11		19
4	*入 学 金/非課	12		20
5	*本教人件費本俸/不課	13		21
6	*本職人件費本俸/不課	14		22
7	仮払 消費税等	15		23
8	仮受 消費税等	16		24

- ・従来、「F3 表示設定」の仕訳表示形式を“2行で表示”にしている場合、部門名称は3文字目までの表示でしたが、4文字目以降も表示できるように改良しました。

番号	日付 伝票	部門	
		借 方	部 門 貸 方
1	04.01	法人事務局	法人事務局
		現 金	授 業 料
2	04.01	国際教養学部	国際教養学部
		現 金	入 学 金

②伝票入力

- ・オプション「伝票入力設定」の「振替伝票で資金繰り枝番入力」を「振替伝票で資金収支枝番入力」に文言を変更し、諸口仕訳に資金収支枝番 [.0001 現預金対象仕訳] [.0004 相殺仕訳 (振替仕訳)] を入力できるように改良しました。

伝票入力設定

仕訳タイプ初期値の設定

複合仕訳 単一仕訳

プログラム開始時や仕訳登録の後等、新しい振替伝票を入力する時 『複合仕訳』で入力します。

振替伝票で資金収支枝番入力

行う 行わない

振替伝票で修正時、複合仕訳の表示

詰めて表示 別行として表示

伝票登録時の伝票番号重複チェック

行う
 重複時、自動で伝票番号を付番する
 行わない

OK キャンセル

通常入力	検索項目	検索	伝票入力	出納帳
1	現 金		.0001現預金対象仕訳	
2	当座 預金 1		.0004相殺仕訳(振替仕訳)	
3	*授 業 料/非課			
4	*入 学 金/非課			
5	*本教人件費本俸/不課			
6	*本職人件費本俸/不課			
7	仮払 消費税等			
8	仮受 消費税等			

2) 元帳検索

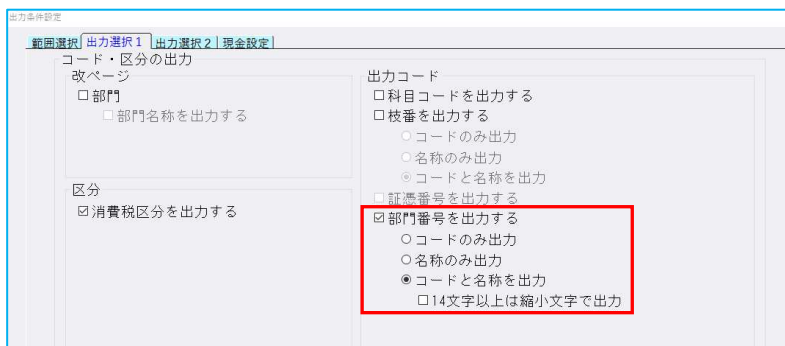
- ① [F11 貸借修正] を行っている状態で、修正ダイアログから科目選択や消費税選択のダイアログを表示した場合、現在修正中の仕訳に被らずに表示するように変更しました。
- ② [F4 仕訳追加] 又は、[Ins 仕訳挿入] を行った際に表示するダイアログの高さを保存し、次回表示時、その高さに表示するように改良しました。
※解像度を変更した場合は初期位置に戻ります。

3) 伝票発行

- ①部門番号出力時、部門名称も出力できるように対応しました。
[F12 出力条件] の出力選択 1 タブで「部門番号を出力する」にチェックを付けている場合に、出力項目を「コードのみ出力」、「名称のみ出力」、「コードと名称を出力」のいずれか選択できる機能を追加しました。
また、「コードと名称を出力」を選択している場合には、「○文字以上は縮小文字で出力」の選択を追加しました。

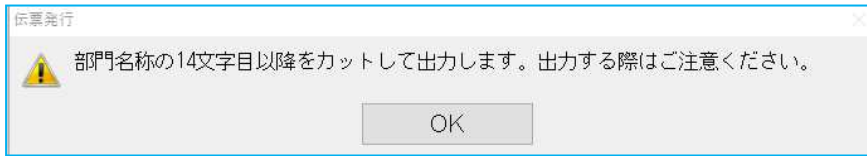
※「○文字」の部分に関しては、部門コードの桁数により表示が変わります。

- ・部門コード 4 桁の場合 = 16 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 5 桁の場合 = 15 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 6 桁の場合 = 15 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 7 桁の場合 = 14 文字以上は縮小文字で出力
- ・部門コード 8 桁の場合 = 14 文字以上は縮小文字で出力



- ◆「○文字以上は縮小文字で出力」の機能について
「14 文字以上は縮小文字で出力」にチェックを付けていない場合。
 - ・部門名称が 14 文字以上でも、部門名称は 13 文字までしか出力されません。
「14 文字以上は縮小文字で出力」にチェックを付けている場合。
 - ・部門名称を縮小し、16 文字まで出力します。

※「O文字以上は縮小文字で出力」のチェックを外した際に、下記メッセージを表示します。

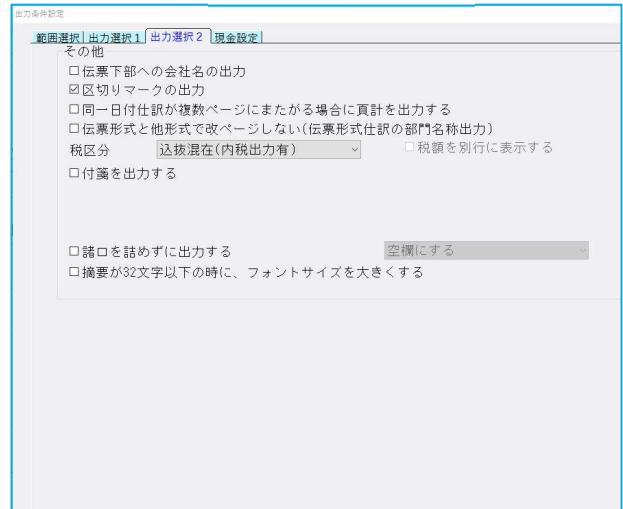


◆上記機能の追加に伴い、出力選択のタブを「出力選択 1」と「出力選択 2」に分けています。

《出力選択 1》



《出力選択 2》



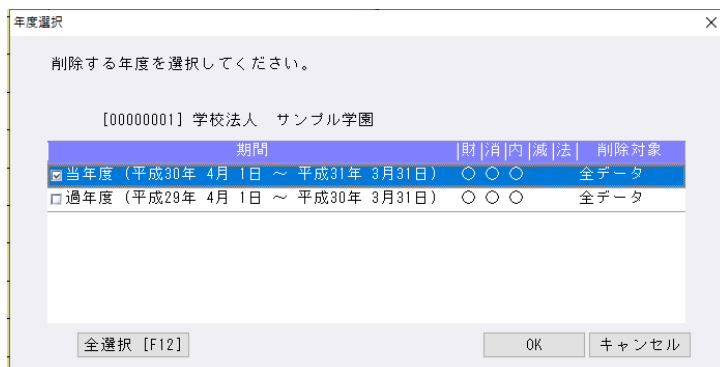
②複合仕訳でそれぞれの仕訳に摘要を入力している場合、1 仕訳目と 2 仕訳目の摘要の合計が 40 文字以上 68 文字以下の場合、摘要の間にスペースを入れるように改良しました。

《例》 1 仕訳目に 25 文字、2 仕訳目に 30 文字の摘要を入力している場合等

※69 文字以上の場合はスペースを入れず、改行を行います。

4) 新規会社登録・修正・削除

①過年度マスターが存在する場合でも、当年度マスターのみを削除できるように改良しました。



5) 科目設定・残高登録

①枝番名称・摘要名称を「科目設定・残高登録」業務から登録する際に、「- (伸ばし棒)」を入力した場合、カナ欄に「- (ハイフン)」が入るように変更しました。

従来、カナ欄には「- (長音)」が入っていました。

《例》 ノート → ノー

II. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

- ①受信一覧の画面を開いた際に、一番新しいデータが最下行に表示されるが、カーソル位置は最上行に止まっていたのを、最下行に変更しました。



修正

I. 導入・更新

1) 前年度からの更新

- ①部門枝番処理を行っているマスターで、前期に部門枝番を追加した科目があり、当期の該当の科目に同じ部門枝番の登録がない場合に“部門枝番残高の更新に失敗しました varchar の値'xxxxxxxx'をデータ型 inf に変換できませんでした。”とエラーを表示していたのを修正しました。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①固定資産の売却等で対価が発生していた科目を、対価の発生しない科目に変更しても、仕訳検索の“対価”での検索に引っ掛かっていたのを修正しました。
- ②仕訳検索で「仕入区分:仕入区分対象」を選択して検索すると、仕訳区分（輸出売上・消費税精算等）が入力されている仕入区分が入力できない仕訳も検索結果に表示されていたため、仕入区分が入力できる仕訳のみ検索できるように修正しました。
- ③出納帳入力画面で仕訳を表示し、別の業務画面とタスクで画面を切り替えていると、出納帳入力画面のカーソルを置いていた箇所が白くなり、その状態で Enter キーを押すとカーソルが勝手に移動し、処理終了ができなくなっていたのを修正しました。

2) 科目設定・残高登録

- ①固定資産科目の課税区分を“非課税”にし、その科目を使用している仕訳が非課税になっている場合、「消費税額試算表・集計表・課税売上割合」の非課税売上に集計されなかったのを、正しく集計するように対応しました。
※令和3年1月1日以降開始のマスターより対応を行っています。

3) 元帳検索

- ①「新規会社登録・修正・削除」の「消費税区分:摘要」が“登録しない”の設定になっているマスターで、元帳検索画面で [Ins 仕訳挿入] [F4 仕訳追加] や [F11 貸借修正] で仕訳修正をする際に、摘要枝番処理が行えなくなっていたのを修正しました。
※科目設定の摘要登録で「摘要への消費税区分を登録する。」のチェックが無い場合も同様です。

②下記の条件等に該当するとき、[F11 貸借修正]で枝番科目を入力すると、消費税区分が文字化けしたり、入力していた金額が変わっていたのを修正しました。

《条件》

- (1) 仕訳の摘要に全角 30 文字、半角 1 文字入力。
- (2) 枝番に全角 10 文字登録。
- (3) [F4 入力設定]で「枝番摘要を仕訳摘要にセット」にチェック有り。

③マルチウィンドウ有効時、[F11 貸借修正]の修正ダイアログを表示した際に、差引残高の列がはみ出て表示される場合があったのを修正しました。

4) 残高問い合わせ

①比較残高タブで、枝番表示方法を“50 音順”に設定しているときに、前期と当期で、枝番、フリガナは同じだが、摘要コードの有無が違う場合、同じ枝番が前期と当期に分かれて表示していたのを修正しました。

5) チェックリスト

- ①消費税属性不良仕訳出力時、一部の仕訳が、画面表示とプレビューで異なっていたのを修正しました。
- ②消費税属性不良仕訳出力時、画面表示では「科目は消費税対象外だが、仕訳は消費税対象のもの」・「科目は消費税対象だが、仕訳は消費税対象外のもの」の両方が表示されますが、印刷・プレビューでは「科目は消費税対象外だが、仕訳は消費税対象のもの」しか出力されないケースがあったのを修正しました。

6) 伝票発行

- ①税抜きマスターで、対価を外税で入力した固定資産売却仕訳を伝票発行する際に、出力条件設定の出力選択 2 タブの税区分を“税抜”にして、「税額を別行に表示する」にチェックを入れ、仕訳を入力した月を指定して集計を行うと、動作が停止していたのを修正しました。
- ②特定の条件で集計を行うと、正しく集計が行われず、もしくはプログラムが不正終了していたのを修正しました。

II. 出力

1) 総勘定元帳

- ①下記条件の場合に、枝番が左の枠線を大きくはみ出していたのを修正しました。
 - (1) 形式：「コクヨ形式 2 (白紙：A4 版) [区切線]」
 - (2) 種別：補助元帳
 - (3) [F7 出力書式]の書式 2 タブで“伝票／部門 No 出力”を「枝番を出力 (相手科目)」

2) 消費税仕訳帳

- ①経理方式が一括税抜き：総額方式のマスターで、消費税が 10%の売上の逆仕訳を入力して、売上の合計がマイナスになる場合に、消費税仕訳帳と合計表で税額が表示されていなかったのを修正しました。

Ⅲ. 決算

1) 決算書

- ①一括税抜きマスターにおいて、税額を加味した金額で配賦が行われない件を修正しました。
- ・2020/8/6 提供のプログラムにて下記対応を行いました。対応に不十分な箇所があり再度修正を行いました。

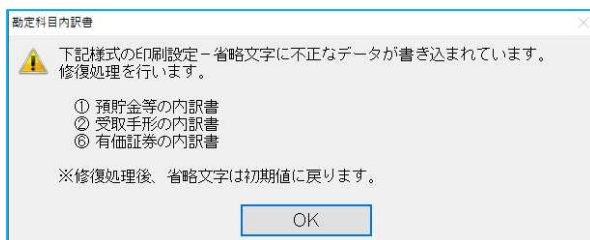
1) 決算書

- ・一括税抜きマスターで、配賦金額に税額を加味して更新するよう対応しました。
- ※今回の修正は「配賦する」で出力した場合、税額分を含まずに更新していたため、出力帳票の前期の期末残と当期の期首残が同額となっていませんでした。
- 尚、科目残高登録での部門別の期首残高と「配賦する」で出力したときの期首残高は異なります。
- ※既に更新済みのマスターは、今回のプログラムで「前年度からの更新」を行ってください。
- ※従前のプログラムで更新後、つじつまを合わせるために残高登録などで金額を調整している場合、今回の修正で逆に合わなくなる可能性があります。処理を行う際にはデータを十分にご確認ください。

- ・前回分で前年度からの更新を行ったマスターは該当マスターを処理するだけで正常に集計されます。

2) 勘定科目内訳書

- ①「①預貯金等の内訳書」「②受取手形の内訳書」「⑥有価証券の内訳書」で、省略文字の設定が破損してしまうケースがあり、現象が起こるマスターに対する修復処理を追加しました。
- 修復処理は今回提供のプログラムで、該当マスターを起動した際に一度だけ下記のメッセージを表示し行います。
- ※修復処理後、上記3様式の省略文字の設定が『初期値（しない「 〃 」）』に戻りますので、必要に応じて再度設定してください。



以上